令和元年度　森林環境譲与税の使途について

事業区分	事業名	事業総額（千円）			基金への積立額（千円）	事業内容	実績									税導入の効果
							森林整備関係							人材育成・担い手確保対策		
							間伐等実施面積			路網整備			その他	事業体等への助成		
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			間伐（ha）	除伐（ha）	その他	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他		事業体数	支援対象者数（人）	
意向調査の準備作業	林地台帳整備事業	3,058	2,970	88	0	平成30年度に整備した林地台帳システムを活用し、森林の現況調査や要整備森林箇所及び施業履歴の把握を実施し、意向調査に向けた事前準備							森林の現況調査等実施面積(7,416ha)			税を活用して、森林の現況調査(7,416ha)を実施し、所有者確認及び未整備森林等が明らかになり、R2年度以降の新たな森林整備箇所（383ha)の把握につながった。 ・新たに公有林の森林整備（除伐3.12ha等）を実施することができ、また、森林整備に重要な林道等の修繕（崩土除去林道12路線等）ができ、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。 ・担い手育成に4事業者8名の新たな雇用創出につながった。 【詳細】 税の活用により、 ・意向調査の準備として、林地台帳システムを活用して森林の現況調査（7,416ha)実施し、対象森林（383ha)の選定を行うことができた。 ・公有林において森林整備事業を実施することができた。（除伐3.12ha、下刈り3.43ha、地拵え0.32ha、枝打ち2.59ha、鹿柵設置250m) ・林道等の維持補修（崩土除去（林道等55,611m)、草刈（林道等18,537m)）を行い、林内作業の安全確保につながった。 ・本村は過疎地域なため、本税を担い手育成・確保事業（林業・製材業・建築業担い手育成事業）に活用し事業者8名の雇用が創出された。 残額は令和3年度以降の森林整備事業に使用するため、基金に積み立てた。
公有林整備（財産区有林含む）	村有林管理事業	8,437	1,912	6,525	0	公有林における森林整備施業		3.12	下刈り(3.43ha) 地拵え(0.32ha) 枝打ち(2.59ha) 鹿柵設置(250m)							
林道・林専道の整備等	林道総務費	32,903	3,000	29,903	0	森林整備に必要となる林道等の維持修繕						崩土除去(林道12路線・作業道18路線) 草刈り(林道15路線・作業道10路線)				
専門員の雇用	林業・製材業・建築業担い手育成事業	9,791	3,118	6,673	0	人材育成・担い手確保に関する支援（林業、製材業、建築業などの伝統的な産業の衰退を防ぐため、全国からＩ、Ｕターン者を募り、事業所に就業した場合、事業所に補助金を交付し、雇用環境の改善や労働安全の向上を図り、就業先への定着を支援）								4	8	
基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金	757	757	0	757	今後増大すると予測される森林整備事業に備えた積立										
合計		54,946	11,757	43,189	757											